



安心の創造、誠実な経営。



平成 27 年 10 月 9 日

各 位

いちごグループホールディングス株式会社（呼称 いちご）  
 代 表 者 代表執行役会長 スコット キャロン  
 （コード番号 2337 東証 J A S D A Q）  
 問合せ先 上席執行役管理本部長 吉松 健行  
 （電話番号 03-3502-4818）  
[www.ichigo.gr.jp](http://www.ichigo.gr.jp)

## 2016 年 2 月期第 2 四半期業績予想および 2016 年 2 月期通期業績予想修正に関するお知らせ

当社は、未公表でありました 2016 年 2 月期（2015 年 3 月 1 日～2016 年 2 月 29 日）の第 2 四半期連結業績予想につき、本日開催の取締役会において決定いたしました。また、2015 年 4 月 20 日付発表の 2016 年 2 月期の通期連結業績予想の修正につきましても同取締役会にて決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2016 年 2 月期（2015 年 3 月 1 日～2016 年 2 月 29 日）第 2 四半期（累計）連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	—	—	—	—	—
今回予想 (B)	14,607	4,913	4,351	4,221	8 円 46 銭
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—	—
(参考) 前年同期実績	9,879	3,124	2,715	2,491	5 円 01 銭

#### 2. 2016 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の概要

2016 年 2 月期第 2 四半期の業績予想につきましては、2015 年 4 月 20 日付発表の決算短信に記載のとおり、複数の既存投資案件の売却時期により影響を受けることから、業績予想の発表を控えさせていただいておりました。今般、当第 2 四半期連結累計期間における既存投資案件の売却額や当第 2 四半期決算に与える影響も明確となってきたことから、当該業績予想を公表させていただきます。

当第 2 四半期の連結業績予想におきましては、前年同期と比し、いちごオフィスリートに対するスポンサーサポートおよび同リートによる物件取得を実施しアセットマネジメント事業が拡大したこと、また不動産再生事業における物件取得の堅調な進展により安定収益となる不動産賃貸収入が大幅に増加したことから、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増収増益となる見込みです。

### 3. 2016年2月期（2015年3月1日～2016年2月29日）通期連結業績予想数値の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	45,000	11,700	10,250	9,150	18円30銭
今回予想（B）	47,000	14,000	12,400	11,000	22円01銭
増減額（B-A）	+2,000	+2,300	+2,150	+1,850	3円71銭
増減率	4.4%	19.7%	21.0%	20.2%	20.3%
（参考）2015年2月期実績	42,705	8,189	7,255	6,761	13円58銭

### 4. 2016年2月期通期連結業績予想数値の修正の概要

2016年2月期通期連結業績予想につきましては、本日付発表の「資産（ホテル9物件）の譲渡および子会社の異動に関するお知らせ」に記載の資産売却による譲渡益、および新規物件取得による賃料収入向上が見込まれることとなったため、当該損益を織り込み業績予想を精査した結果、売上高20億円、営業利益23億円、経常利益21億円、当期純利益18億円が前回予想より増加する見込みです。その結果、上述のとおり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきいずれも上方修正することといたしました。これにより、前期比では、営業利益1.7倍（71.0%増）、当期純利益1.6倍（62.7%増）となる見込みです。

以上

（注）本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社および当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている計画とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。